

第74 福島問題研究会議事録

2023.6.16 伊達記

1. 開催日時 2023/5/24 14:00～16:05
2. 出席者（敬称略）：中尾、横堀、橋本、郷、戸井田、牛尾、伊達
小林、松田（欠席）
3. 議題：
 - (1) 第73回研究会議事録の確認
 - (2) 入手情報紹介・情報交換：前回以降の関連会合情報等
 - (3) 討議事項
 - 1) 汚染水処理システム現場データについての議論
 - 2) chatGPT 等
 - (4) その他

(1) 第73回議事録確認：承認

(2) 入手情報紹介・情報交換：前回以降の関連会合情報等（講演会、セミナー）の紹介

1) 講演会・セミナー（詳細：Drop box 資料参照）

オンラインの講演会が少なくなり、関連セミナーから得られる情報が少なくなってきた。

④4/19（水）ICRU 国際シンポジウム（福島復興と放射線計測）

「福島国際研究教育機構（F-REI）の紹介」山崎光悦氏（F-REI 理事長）

・R5.4.1 に設立。我が国の科学技術力・産業競争力の強化を牽引し、経済成長や国民生活の向上に貢献する、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指す。推進：復興庁。

・果たすべき役割は次の4項目：研究開発機能、産業化機能、人材育成機能、司令塔機能

<その他の講演演題>

「JAEA R&D Efforts for Decommissioning of the Fukushima Daiichi NPS」

「Lessons Learned from Fukushima Nuclear Power Plant Accident: Limitation of Public Health Emergency Response and Recovery」

「Evaluation of Dose Reduction Factors for Wooden Houses in the Affected Areas Based on in situ Measurements」他

②5/20（土）東工大北1号館会議室（ハイブリッド）核友会講演会

「核工学と核医学の融合 ～原子炉による医用 RI の生成～」高木直行教授（東京都市大）

- ・開発とその普及への期待が高まっている「 α 線内用療法」の現状についての講演。「 α 線内用療法」は3つある放射線治療法の1つで、癌細胞に集積しやすい薬剤に線源を結合等させて投与するもの。適切な半減期の α 崩壊線源(AC-225：半減期約10日)を得ることは技術的に可能で、細胞に集積しやすい薬剤、その仕組みがポイントの様様。

<今後の予定>

- ① SCENet 主催原子力関連公開講座（6月3日（土）～7月1日（土））
- ・現状の申し込み人数は27名（学生：4名）。受講希望あれば申し込みを。

(3) 討議事項

1) 汚染水処理の SARRY 4 塔メーゴーランド方式吸着システムのシミュレーション (中間報告)

- ・吸着剤のコスト低減、固体廃棄物（使用済み固体吸着剤等）の削減も1Fの大きな課題。
- ・吸着剤の効率的使用の観点から、前回に引き続き、SARRY メーゴーランド方式の現場データ（吸着の破過曲線）について議論を行った。入手した現場データはばらつきが大きく、分析精度の問題があり、解析が難しい。

<今回の主な討議>

- ・システム入り口データ（Sr-90 濃度）が二年間にわたり 10^7 Bq/L で安定しているのはなぜか？
⇒各号機の建屋地下滞留水を直接 SARRY に送らず、一旦集中廃棄物処理建屋に集めてそこから浄化システムに送るため、各号機の放射能濃度のバラツキは平均化されるのではないか。
- ・システム出口データ（Sr-90 濃度）は 10^3 Bq/L レベルであるが、この濃度で ALPS に送られると考えてよいか？
⇒SARRY から出た処理水は淡水化装置で浄化、浄化されたものを炉心冷却水として使用し、一方濃縮廃液の方を ALPS 処理する。

2) 1F の事故から7日間を描くドラマ「THE DAYS」の紹介

- ・6月配信開始のNetflix ドラマで、予告編を見る限りしっかりしたつくりのドラマの様様。要チェック。

3) chatGPT

- ・各自で使って見た感想の情報交換。質問の仕方で良い答えが得られる、同じ質問に対して違う答えが返ってくる、回答の出所がわからない等ある等。
- ・どうやったら役に立つか、どのように使いこなすのかは、これから。

以上